

文理の壁を超え、知の最前線へ

学問最前線座談会―都心学部共同開講科目の魅力

視野の広がりや学際的な学びを求めて

山西 皆さんはなぜ「学問最前線」や「学際最前線」を履修したのですか？

野村 専門の生物学だけを学んでいると、思考が凝り固まってしまうのではないかと不安だったからです。将来は環境問題に携わりたいと考えていますが、生物の知識だけでは解決できない問題も多いと感じ、視野を広げたいと思いました。

島田 他学部との交流を通じて、自分とは異なる「考え方のプロセス」を知りたいと思います。「学際最前線」を履修しました。

小島 1年次から「学問最前線」に興味はあったものの、履修には至りませんでした。そんな中、2年次にシリコンバレーでのスタディツアーに参加した際、スタンフォード大学のロースクールで、法律を社会学的、統計学的に分析する「学際的な学び」の話聞き、強い感銘を受けました。自分もそのような学びがしたいと思い、「学際最前線」を履修しました。

「学問」で基礎、「学際」で実践を学ぶ

山西 1年次から履修できる「学問最前線」と、3年次以上の「学際最前線」を両方履修した野村さんは、2つの授業を受けてみていかがでしたか？

野村 「学問最前線」は対面またはオンラインで各学部の先生方の講義を受けるスタイルで、いわば「学問の入り口」に触れる授業でした。ある程度専門知識がついた3年次で受講したところ、「自分の専門とこの話がこうつながるのか！」という発見があり、これまでの学びの成果を再確認できました。一方の「学際最前線」はグループワークが中心で、得た知識を能動的に使う場という印象でした。「学問最前線」で知識のインプットを行い、それを武器に「学際最前線」でアウトプットする。この流れにより、学びが深く定着した実感があります。

山西 「学問最前線」は1年次向けに設計された授業ですが、上級生にとっても自分の専門性を再定義する良い機会になりますね。小島さんと島田さんは、「学際最前線」を受けてみていかがでしたか？

小島 「学際最前線」は3日間の夏季集中開講なので、非常に充実した時間でした。他学部の学生と「答えのない問い」に対して議論を重ねるプロセスは、通常の講義形式では味わえない緊張感と醍醐味に満ちており、実務に近いシミュレーションを経験できたと感じています。

島田 新しい知見を吸収できる、刺激的で楽しい授業でした。夏休み中の3日間

で計10コマ以上をこなすというハードなスケジュールでしたが、大変さより楽しさが勝りました。また、それぞれの学部の専門分野によって思考に違いがあることを肌で感じ、この気付きが自分自身の視野を大きく広げてくれました。

キャンパスを越えて広がる「知の景色」

山西 3つのキャンパスを移動しながらの授業はいかがでしたか？

島田 それぞれのキャンパスで出される課題は、理工系から法律まで幅広いので、常に新鮮な気持ちで楽しく受講できました。このように他学部と交流する科目がもっと増えれば、都心3キャンパスの魅力がより引き立つと思いました。

小島 今回の授業で初めて国際情報学部の市ヶ谷田町キャンパスに行きましたが、「意外と近いんだ」と驚きました。島田さんの言うように、このような科目が充実すれば、キャンパスを超えた学生同士の交流がさらに活発になると思います。

野村 同感です。同じ大学にいながら、専門分野が違っただけで接点が少ないのは非常にもったいないと感じました。それぞれの学部の強みを持ち寄ることで、新しい視座が生まれることを体感できたので、なおさらそう思います。

学問最前線のこと

さとう ふみこ
法学部教授 佐藤 文彦

学生時代に、専門性を身につけることは極めて重要です。けれども、総合的な知性や倫理を置き去りにした、専門馬鹿にはなってもらいたくない。そのためには幅広い教養や、他分野との対話能力を育てることが必要です。学問最前線は、みずからの専門分野だけでなく、他分野について現代的なトピックをリレーで講義することで、専門領域にとらわれない興味関心を喚起するとともに、専門が異なれば考え方の軸が異なることを理解し、自己の専門領域の考え方を相対化できるようになるための素地を提供しようとするものです。同じ世界の景色であっても、見方が変わればまったく違うものとなることを感じて、今後の学びにつなげてもらいたいと、企画立案者の一人として念じています。

やまにし ひろゆき
山西 博之
理工学術院教授

こじま もえこ
小島 萌子
法学部法律学科4年
私立豊島岡女子学園
高等学校（東京都）出身

中央大学では、2023年度より、法学部・理工学部・国際情報学部（ITL）の都心学部が連携する文理横断型の共同開講科目「学問最前線」を開講しています。さらに2025年度からは、その発展的な位置付けとして、より実践的な学びを追求する「学際最前線」がスタート。今回は、授業を担当する山西博之教授（理工学術院）のファシリテートのもと、これらの科目を履修した3学部の学生に、学部の枠を超えた学びの魅力を語ってもらいました。

専門分野への貴重なフィードバックも

山西 他分野の視点は、自身の専門領域を深めるのに役立ちそうですか？

野村 はい。理工学部で開講された「学際最前線」の「科学・政策インターフェイス×ロボティクス」の授業の中で、「規制でドローンを飛ばせない区域がある」と法学部のメンバーから法的制約の指摘がありました。同じ理工学部でも機械系のメンバーからは、「その用途なら、こういう新しいセンサーがあるよ」と具体的な技術提案を受けました。自分一人では気付けなかった、現実的なハードルや可能性を知る貴重な機会になりました。

小島 普段は基本七法を中心に学んでいますが、国際情報学部のキャンパスで行われた講義で特定秘密保護法や情報技術に関する法制度に触れ、社会で使われている法の適用範囲の広さを再認識しました。同時に、机上で学ぶ法律と現実社会で起こっている技術革新の間の「ギャップ」を埋めることの難しさも学べました。

島田 3学部の性質に合わせた多様な議題に取り組む中で、他学部のメンバーの知識に助けられる一方、思考の前提が異なるがゆえに議論が難航する場面もありました。しかし、それこそが自分自身に「国際情報学部としての専門性」が備わっ

ている証だと客観的に自覚するきっかけになり、自信につながりました。

多角的な視点を、将来を切り開く武器に

山西 この授業の成果を、今後どのように生かしていきたいですか？

島田 価値観の異なる他者と協調し、最適解を導き出す力は、社会で最も求められる素養の一つです。この授業を通じて、「他者の意見を尊重しつつ、自分の専門性を活かして貢献する」という姿勢を学べたのは、大きな収穫だったと思います。

野村 私は大学院進学を予定していますが、専門性を深めるからこそ、その根底に「広い視野」を保持することが不可欠だと感じました。将来、企業で研究開発を行う際にも、この授業で得た多角的なアプローチや議論の経験が、きっと生きてくると確信しています。

小島 私は法曹をめざしています。近い将来、AIやロボティクスを悪用した新しい犯罪の増加が予想されますが、技術的な背景を理解しようと努め、異なる専門分野を持つ仲間たちと議論したこの経験は、必ず強みになると思います。「多角的に解決策を探る姿勢」を、これからも大切にしていきたいです。

後輩、そして保護者の皆さまへ

山西 最後に、「学問最前線」「学際最前線」の履修を考えている後輩や、そのご家族にメッセージをお願いします！

島田 学部を超えた仲間と切磋琢磨できる最高のチャンスです！異なる専門分野を学ぶ仲間が、どのような思考、視点で結論を出すのか、それを知ることができます。また、自分自身が積み上げてきた学びが、きちんと自分の力になっているか、それを客観視する絶好の機会にもなります。ぜひ、後輩の皆さんにも履修してほしいです！

野村 集中講義やグループワークと聞くとし身構えてしまうかもしれませんが、一歩踏み出す価値は十分にあります。学びに対するモチベーションの高い他学部の学生と交流することで、自分自身が大きく成長できるはずです。

小島 「学問」で幅広い視野の礎を築き、「学際」でそれを深める。このステップは、中央大学の建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」を体現するものだと思います。ぜひ、これまで見たことのない「知の景色」を体験してください！

山西 ありがとうございます。都心学部の連携は、本学の新しい教育の柱です。学生たちが専門の殻を破り、複雑化する社会課題に立ち向かえる「学際的な知」を育んでくれることを期待しています。

学問最前線、学際最前線の人気

国際情報学部教授 **岩隈 道洋**
いわくま みちひろ

文理をまたいで毎週違う学部の教員の先進的な講義を受講できる——学問最前線はオンラインと対面講義を組み合わせてこのような授業を実現する中央大学都心学部発の試みです。月曜1限という学生諸君にとっては過酷!? なコマにも関わらず、今年は1,000人を超える受講者に恵まれ、教員もうれしい悲鳴を上げています。夏季集中の学際最前線は、法（茗荷谷）・理工（後樂園）・国際情報（市ヶ谷田町）の3キャンパスを学生が実際に行脚し、それぞれの学部で選りすぐりの学生参加型セミナーを受講します。ちょっとハードですが、受講した学生の知的興奮と学部を超えた仲間づくりに大いに貢献しているようです。



しまだ ともあき
島田 倫明

国際情報学部国際情報学科4年
私立東海大学付属
浦安高等学校（千葉県）出身



のむら けいし
野村 圭史

理工学部生命科学科4年
神奈川県立生田高等学校出身